

科目名	美と衛生		Subject	Beauty & Sanitation				
サブタイトル	公衆衛生の歴史と現状を理解し、美容室および美容業に適した衛生知識を身につける							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	D P 1 知識・技能	D P 2 主体的行動力	D P 3 課題解決能力	D P 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	D P 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	D P 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	冬季	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回								
教員名	相馬 勉			メールアドレス	tsutomu.soma@・・・			
教員の略歴	青山の美容室でヴィダルサスーンカットを習得後、美容室 style. をオープン。美容室経営車検スタ入りリストとしての経験と技術・知識を活かし美容学校で講師としても活動中。							
実践的教育	○ 美容師および美容室経営の経験をもとに、現場で実践している衛生管理および消毒法の内容を反映している。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
美容を業とするサロンは、様々な情報交換の場所であるため、地域の公衆衛生の維持と増進を図る必要がある。これらを行うための正確な情報や知識をより美容室に即した方法で学習していき美容を通じて美しく生きるために必要な能力を養う。また、そこで得た学びが美容師国家試験にもつながっていく。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	公衆衛生の重要性を理解し、消毒薬の特性や感染症ごとの対応を説明できる							
DP3	病原体ごとに必要な衛生処理を行い、効果的な消毒を実施できる							
教科書・教材								
教科書	衛生管理(公益社団法人日本理容美容教育センター2026年)、配布プリント							
参考文献	なし							
各自準備教材	20ページ程度のクリアファイルブック(テキスト保管用)							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
70%	-	10%	20%	-	-	-	-	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
定期試験の要点について、掲示にて解説をおこないます。 補足の資料はclassroomにて配布し、問い合わせは個別に対応する。								
履修上の条件・注意								
遅刻、欠席は厳しく管理します。また授業中の私語、勝手な退室、授業妨害等迷惑行為を行った場合は、欠席扱いとします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 公衆衛生の歴史と重要性を学ぶ	授業の流れを知り、公衆衛生の歴史について述べるができる。	時間外学習用テキストを使用し、美容室で衛生環境をどのように維持するかを調べてくる事(別途復習用動画教材配信の場合あり)分	60 分
第 2 回	用具別の使用方法での汚染を学ぶ	用具類の汚染ルートを理解し、その予防に配慮した行動がとれる。	時間外学習用テキストを使用し前回の復習と、衛生管理:3 編感染症 1 章感染症の総論 3 節感染症の予防について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 3 回	美容用具の種類によつての適切な使用方法を学ぶ	美容用具の種類によつての適切な使用方法を説明できる。	時間外学習用テキストを使用し前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 1 節各種消毒薬(2)について予習	60 分
第 4 回	衛生面での美容用具の取り扱い方を学ぶ	衛生面での美容用具の取り扱い方を遵守する方法を説明できる。	時間外学習用テキストを使用し前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 1 節各種消毒薬(3)について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 5 回	理容所・美容所における消毒の原則 を学ぶ	理容所・美容所内の衛生を維持するために必要な知識を説明できる。	時間外学習用テキストを使用し前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 2 節理容所・美容所の消毒の実際(1)について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 6 回	皮膚に接する器具類の消毒原則を学ぶ	皮膚に接する器具類を、消毒原則に即し正しく取り扱うことができる。	時間外学習用テキストを使用し前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 2 節理容所・美容所の消毒の実際(3)について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 7 回	消毒の際の適切な処理について学ぶ	消毒を行う際の適切な処理について説明できる。	時間外学習用テキストを使用し前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 2 節理容所・美容所の消毒の実際(4)について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 8 回	法令に基づく消毒方法の違いを学ぶ	各道具類による消毒法の違いを知り、各々に適した消毒が実施できる。	前回の復習と、衛生管理:2 編環境衛生 2 章理容所・美容所の環境衛生 1 節理容所・美容所の衛生管理について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 9 回	その他各種の消毒方法を学ぶ	その他の異なる材質や形状による各種の消毒方法を説明することができる。	前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 2 節理容所・美容所の消毒の実際(5)について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 1 0 回	理容所・美容所の消毒の現状と過去の検査報告を学ぶ	過去の検査報告を踏まえた上で、道具の汚染度を推測することができる。	前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 2 節理容所・美容所の消毒の実際(6)について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 1 1 回	理容所・美容所の消毒の現状と消毒の原則を学ぶ	消毒する際に必要な心構えを具体的に述べることができる。	前回の復習と、衛生管理:4 編衛生管理技術 3 章消毒法実習 1 節各種消毒薬(1)について予習(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 1 2 回	清潔保持と清掃を学ぶ	清掃道具の扱い方や不潔な場所を素早く予測できる。	時間外学習用に作成したテキストを使用し前回の復習と、3 章消毒法実習 3 節理容所・美容所の清潔方法の実際(1)について予習 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 1 3 回	清掃(整理整頓)を学ぶ	教室内は勿論、自身の使用道具の清掃と整理整頓を行うことができる。	時間外学習用に作成したテキストを使用し前回の復習と、3 章消毒法実習 3 節理容所・美容所の清潔方法の実際(2・3)について予習 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 1 4 回	各種消毒方法理論と法令を学ぶ	今まで行ってきた授業内の衛生知識を復習し、知識を具体的に述べることができる。	時間外学習用に作成したまとめテキストを使用し前回の復習と、今まで行ってきた授業を記入し、まとめること	60 分
第 1 5 回	各種消毒方法と用具の取り扱い方を学ぶ	衛生面に配慮した正しい美容用具の取り扱い方を遵守できる。	時間外学習用に作成したテキストを使用し総復習を行い、グループでの意見交換のために内容をまとめておくこと	60 分